今後のまちづくりに貴重な意見・要望

市民と市政を語る会

「市民と市政を語る会」を11月4日から12日まで、市内5会場で開催しました。今回は、平成23年度から向こう5年間のまちづくりの指針となる第5次枕崎市総合振興計画基本計画の計画後期の策定に向け、まちづくりなど市政全般について、市民の皆さんの意見・要望を聞き取ることを目的としたものです。会の冒頭では、神園市長就任後のマニュフェストの進行状況や、その他の市政に関する報告も行いました。

ここに、市民の皆さんからの質問に対しての回答や意見・要望の主なものを総合振興計画の6つの柱に沿って紹介します。

① 生活環境

安全で潤いのある きれいなまちづくり

【質問】 ヤンバルトサカヤスデの発生拡大が危惧される。このままでは市内全域に広がってしまうのでは。

【回答】 ヤスデの発生は、現在市内18地区に広がっている。

対策としては、ヤスデは湿地を好むので、周囲の雑草等を伐採すること、また、侵入を防ぐためには、集落際の除草を行うことが必要だ。市では公民館に薬剤の配布も行っているので活用していただきたい。

市でも来年度当初の発生時期を見据えて一斉に対策がとれないか検討している。

【質問】 堆肥センターは、風のない日は特に悪臭がひどい。脱臭機が3年ほど前から壊れ、修理されていない状況だ。修理費用がなく、修理できなかったという説明もあったが、市・農協・周辺住民との協定も締結しているのに、対策を講じていないのはなぜか。

【回答】 対応が遅れたのは、率直にお詫び申し上げたい。既に現地確認し、悪臭発生の事実は把握しており、脱臭機の故障も含め、臭気が出ないような対策や資金等について検討している段階である。検討内容がまとまった段階で公害防止協定に基づき、対応を説明させていただきたい。

【意見・要望】

●資源ごみについては、分別すればそれが財産となる考えから、資源ごみの袋を廃止し、ごみ集積所に収集箱(プレコン等)を設置することはできないか。

●夜間、非常に暗い場所があるため、安心・安全なまちづくりのため、防犯灯の設置や側溝に蓋をしてほしい。

●下水道料金の値上げについて、受益者負担の原則は分かるが、下水道設置箇所でも接続していない家庭もあるのではないか。行政に努力していただき、接続数を増やし、悪臭問題も解決してほしい。

●粗大ごみは、基本的に内鍋清掃センターへの持ち込みとなっているが、高齢者の多い地域もあるので、年に数回でも粗大ごみの回収を行ってほしい。

●災害時でも安全に避難ができるよう、避難所の再検討・再整備を行ってほしい。

② 都市基盤

快適で便利な 拠点性の高いまちづくり

【質問】 交通弱者対策として、買物バスなどを走らせる考えはないのか。

【回答】 コミュニティバス等を運行するとなると多額の経費を要する。皆さんの利便性の高い、長続きする制度を作るため、アンケートを実施して実情を調査するとともに、老人福祉センターへの送迎バスを活用し、市役所を経由する経路での試験運行を行うことにしている。

【意見・要望】

●そのほか市道・市有地の適切な維持管理や市道拡張に係る要望が出された。

③ 産業経済

人と人とが交流し、 活力みなぎるまちづくり

【質問】 市は、お魚センターに対し損失補償を行っているが、その借入金1億7千万円は、建設資金なのか、経営累積の赤字なのか。また、お魚センターの経営状況はどうなのか。

【回答】 借入金は、平成4年にお魚センターを建設した際の建設資金の残金である。また、経営状況については、最近では、直近の2期で赤字となった以外は黒字である。

【意見・要望】

●お魚センターの活性化のために、鮮魚部門を設け、実演販売・体験販売をしてほしい。

●人口減少問題、雇用確保の観点から、企業誘致や起業家支援を強化してほしい。

●国見岳の頂上付近は、草木が生い茂り景観が確保されていない。伐採等を行うか矢倉でも建てて景観確保に努めてほしい。

●観光客誘致のため、景観のいい場所に「道の駅」を建設してほしい。

●昭和20年に沈没した戦艦大和を観光にうまく利用できないか。知覧が空の特攻であるなら、大和の慰霊碑がある枕崎は海の特攻である。空の特攻は南さつま市にもあり、トライアングルも形成できる。現在、枕崎の慰霊碑には年間1万5千人ほど訪れるが、大和スタジアムを造れば5年後には20万人以上の集客があると思う。商売人は、黒字になると思えば調査し実行する。市にもこのような考え方で未来展望を持ってほしい。

●枕崎には日本一のものがたくさんあるので、それを紹介・販売するために東京や大阪に枕崎の特産品販売所のようなものを設置してほしい。

●地球温暖化が進行する中、将来的には南方系の果樹等の栽培を市としても推進する必要があるのではないか。

11月12日、市民会館で行われた「市民と市政を語る会」で市政報告をする神園市長

④ 健康・福祉

健康で心がふれあう やさしいまちづくり

【意見・要望】

●視覚障害者は、音に頼る部分が大きいので、公共施設や民間の店舗等の入口にスピーカー等を設置するようにしてほしい。また、歩道の点字ブロックについても再度確認を行ってほしい。

⑤ 教育文化

豊かな人間性と文化を育む、 ゆとりに満ちたまちづくり

【質問】 学校の統廃合の方向性を早急に出してほしい。結論が出ないことには、自分の子どもたちにも集落に帰って来いと言えない状況だ。また、このことが原因で集落を離れていく世帯もいる。学校を統合しないと集落の過疎化は進む一方である。地元出身の若い世代が集落に戻り、定住できる環境づくりを行ってほしい。

【回答】 今後、教育環境を話し合う場として、『枕崎市望ましい学校づくり審議会』を設置し、市内の学校の適正規模・適正配置等について検討し、審議する予定となっている。

部活動を他の学校で行いたい、学校を統合してほしいという声を聞く一方、学校がなくなると集落が寂れるという声もあり、慎重な検討が必要だが、第一に子どものことを考えていきたい。

【意見・要望】

●グラウンドゴルフ人口が増加してきている。公園が公認コースとしての認可を受ければ、市民の憩いの場の確保になる。また、公式大会を開催すれば交流人口の増加が図れ、活性化に繋がるのではないか。

●人口の増加傾向にある地域は、子どもたちが遊べる場所、年配の方が憩える場所である運動公園や休息できる東屋をつくってほしい。

⑥ 行財政

新しい時代を拓く、 連携と協働のまちづくり

【質問】 市職員は計画的に募集しているのか。スリム化は分かるが、減らしすぎても市としての機能が損なわれ、悪循環になるのではないか。

【回答】 職員採用は、定年退職者数や市の行っている業務が民間でできないのか、正職員でなく嘱託員等で対応することはできないのか等を考えながら計画的に実施している。住民サービスが低下しないような方法で職員数削減に取り組んでいきたい。

【質問】 地域担当制とは、行政から各公民館に職員を派遣し、相談を受けたり、指導したりするということなのか。

【回答】 地域の問題解決の支援のために設けられた制度であり、一緒に職員も集落に入り、協働で問題解決し、公民館自体の力を昔のように（自分たちのことは自分たちで行う）取り戻していくようなものにしていこうとするものである。

例えば、高齢化率の高い集落だけで自主防災組織は成り立たない。集落が相互に助け合える、本当に動ける自主防災組織が望ましい。

【意見・要望】

●枕崎にはボランティア団体等がたくさんあり、どの団体も枕崎を元気にしたいという考えは一致しているが、各団体の横の連携が取れていないので、それぞれの団体をつなぐ役目を官にやってほしい。

●行政サービスのスピードアップを図ってほしい。

●市の大きな目標、今後の方向性を示すため、自治基本条例のようなものを制定してほしい。

問合せ　企画調整課企画調整係
TEL72-1111　内線225・226

年末年始のごみ・し尿収集

■ごみ収集業務

年末：12月30日(木)まで
年始：1月4日(火)から

【収集日程】

12/27(月)	燃えるごみ(市内全域)
12/28(火)	資源ごみ(枕崎・別府地区)
12/29(水)	資源ごみ(立神・桜山・金山地区)
12/30(木)	燃えるごみ(市内全域)
12/31(金)～1/3(月)	収集業務は休み
1/4(火)	燃えるごみ(市内全域)
1/5(水)	燃えるごみ(市内全域)
1/6(木)	資源ごみ(立神・桜山・金山地区)
1/7(金)	燃えないゴミ(市内全域)

※12/31(金)～1/3(月)は、集積所へごみは出さないでください。

■内鍋清掃センターへの持ち込み

TEL72-6816
年末：12月30日（木）まで
(搬入時間：午前8時30分～午後4時)
年始：1月4日（火）から

・年末（28日～30日）は、持ち込み件数が増えるために混雑が予想されます。**年末に集中しないよう早めに内鍋清掃センターに持ち込んでください。**
・カセットボンベは、使い切った後、穴をあけて資源ごみとして出してください。

■し尿くみ取り業務

枕崎清掃社 TEL72-1539
年末：電話受付は12月24日(金)まで
　　くみ取りは12月28日(火)まで
年始：1月4日(火)から

◎問合せ

・市民生活課環境整備係
　TEL72-1111　内線327
・内鍋清掃センター
　TEL72-6816